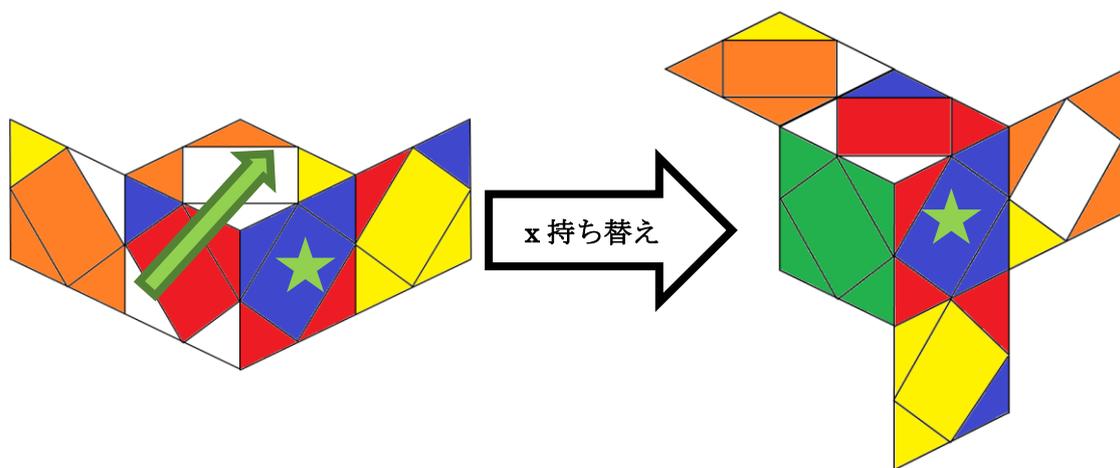


Sarah 中級+ α

『Sarah 中級+ α 』は、Sarah 中級を覚えた人がさらに速くなるために覚えたほうが良い手順をまとめたものです。

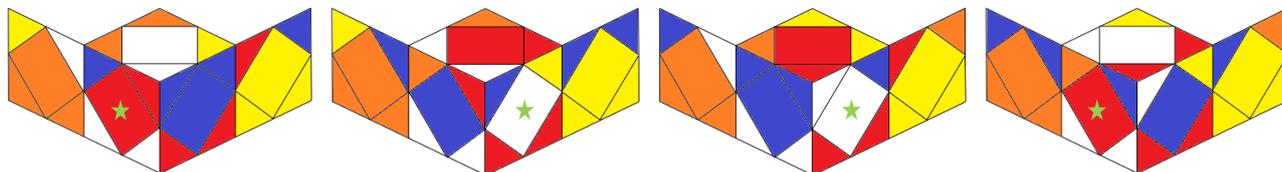
手順表の見方



ここで紹介する手順は左の図のようになっていますが、回すときは右の図のように **x** 持ち替えした形で回します。FL 面が完成させた一面、FR 面が星のある面という向きが開始面となっています。

また、手順が青くなっている場合は **x** 持ち替えをしないで回します。 D 面が完成させた一面、FR 面が星のある面という向きが開始面となっています。

Pi + O-perm

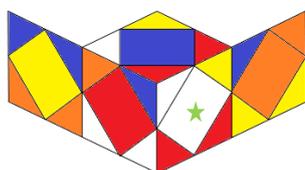


この4パターンは Cat3 の手順を回さず、星のある面を開始面にしてスレッジ or ヘッジ
をすると U-prem になります。

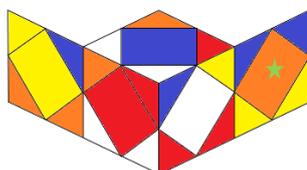
※左2つがスレッジ、右2つがヘッジです。コーナーを揃える感じに覚えると良いでしょう。

Pure 系

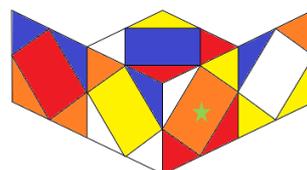
スレッジ/ヘッジで対応できないパターン(Suck Cases)がほとんどです。
判断が簡単なパターンが多いので覚えてしまえば速くなれるでしょう。



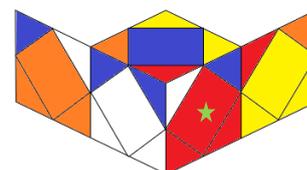
$R r R' z' r' R r R z R r' R'$



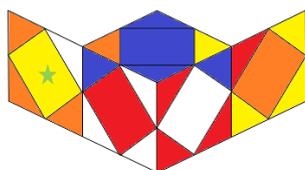
$z' r' R' r B R B' R' r' R r$



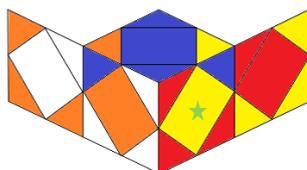
$r2' R r R z' r' R r B$



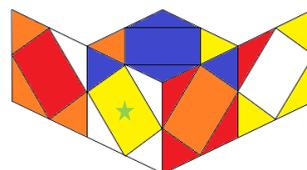
SS



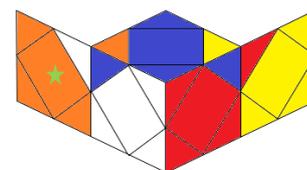
$z2 R' r' R r z R r R' r z' r' R r$



$R r' R r' R' z' r' R r B' R$



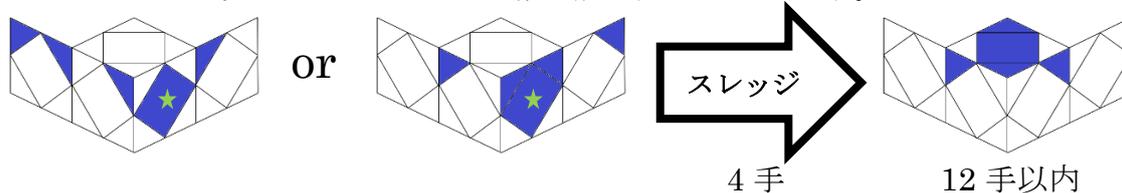
$z r R' r' R r R' r z' r' R r B$



$y2 B r' R r R' z' b' R r' R' r$

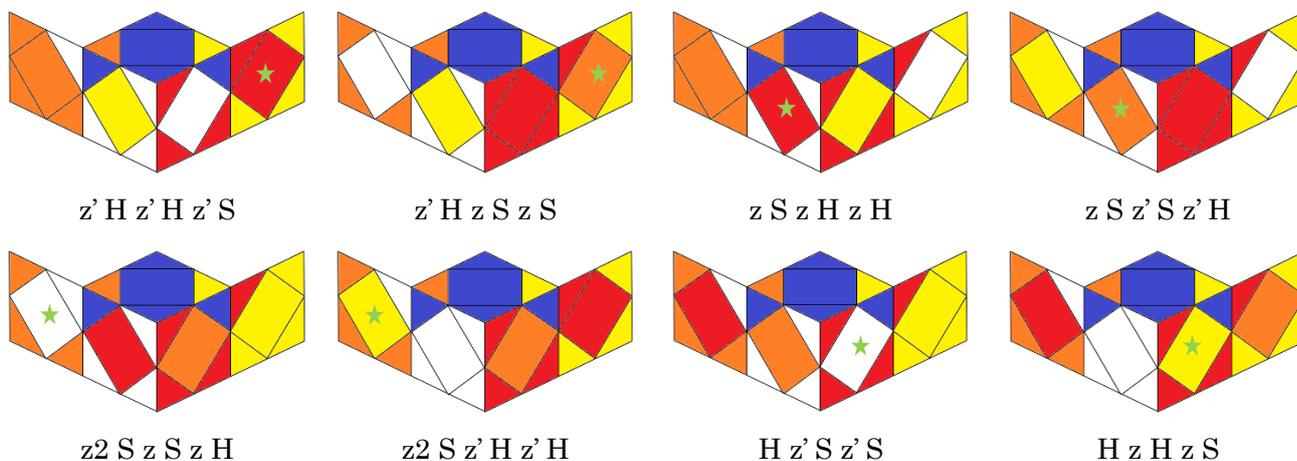
PPeanut + U-perm

Peanut を覚えることで cat3 の手数を減らすことができます。※この形↓



Cat3 は上の図の 3 パターンあり、その内の Pi 系は対面センターの面を開始面としスレッジをすると Pure Peanut(次から PPeanut とします)の形になります。Cat3 はコーナー & 対面センターを揃えるのに 12 手(スレッジ/ヘッジ 3 回)かかり、U-perm で 8 手、Z-perm で 9 手かかるので合計 20~21 手かかります。しかし PPeanut 系を覚えることでスレッジ+PPeanut で最大 16 手で解けるようになります。もちろん PPeanut 系が来れば 12 手以内で解けるようになります。

PPeanut 系は 12 パターンあり、その内の 4 パターンは『Pure 系』の所で紹介しましたので省略します。残る 8 パターンである PPeanut+U-perm は全てスレッジ/ヘッジを 3 回回せば解ける手順があるのでとても覚えやすいです。



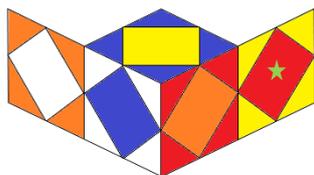
センター

一面を揃えたときにコーナーが揃ってしまうと Sarah 中級が回せません。

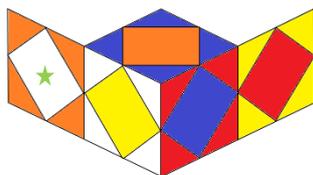
面倒なので覚えちゃいましょう。

※L4C までは『Sarah 中級』に載せているので L5C のみ載せています。

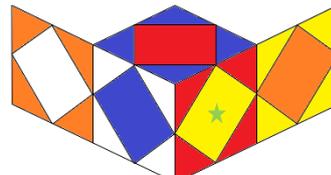
※左の 4 パターンは U-perm 持ち替え U-perm です。



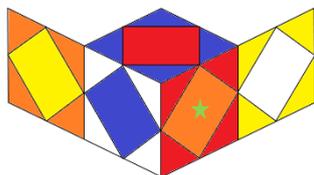
$z' S z^2 S z' x S z^2 S$



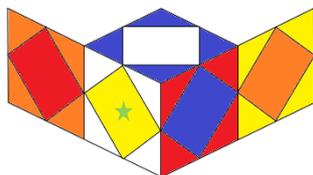
$z^2 S z^2 S z x' S z^2 S$



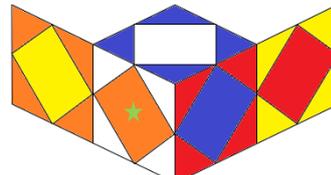
$S z S z' H z H$



$S z^2 S z S z^2 S$



$z S z^2 S z' S z^2 S$



$H z' S z S z' H$